

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 株式会社ビューティカダンホールディングス			・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。																	(様式第2号)	
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念や経営目標の明文化を行い中期経営計画の策定等をし、社内会議や研修会等を通じてグループ内に共有すると共に、その内容についても社内報、年報、各掲示板等を通じて説明を行っている。								8	9									17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令遵守の規程とマニュアルを整備し法令遵守の重要性を全従業員に向けて発信している。また社内には専任部署を設けており、グループ全体のコンプライアンス意識の向上に取り組んでいる。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、その重要性を発信している。また服務規律も明文化しており、中立・透明・公平な業務遂行の確保に常に留意している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		グループ理念、グループ経営理念、当社企業理念、当社経営理念の下、コーポレートガバナンス・コードの趣旨を踏まえてコーポレートガバナンス・ガイドラインを制定し従業員と共有している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		商標権や特許権等は弁理士と連携し取得管理を行うと共に、事業活動においても権利侵害に該当しないか適宜確認を行っている。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報は専任部署にて専門システムで適切に管理している。また情報漏洩等の事故に対する具体的な対応策についても策定している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		日々頂くご意見や株主総会やイベントで頂く声は最も重視しており、速やかに主要役員及び担当と共有される土壌の形成に努め、業界全体が持続可能かつ成長するための経営の形がどうあるべきかを追及している。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		想定されるリスクやその対処についてサプライチェーンと共有しており、規則の制定を踏まえた調整を実施している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		事業継続計画を定めており、定期的な訓練の実施や見直しに取り組んでいる。									9		11		13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		継承に関する様々なテーマを議論する後継者計画会議を適宜開催しており、事業の継続・継承に関する検討や対策を行っている。								8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		差別やハラスメントの禁止を就業規則にも定めており、入社前後での説明や研修の中でも教育を行っている。 万が一事業が発生した場合は、コンプライアンス違反として然るべき対応を行う。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		毎月安全衛生委員会を開催し、事故があればその原因の分析と改善を行い、都度記録を残している。また業務中の事故を防ぐために業務で使用する備品等の見直しは随時行っている。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		生産職/非生産職それぞれに対応した人事評価制度を制定しており、各員のスキルに応じて対価を支払う仕組みを形成している。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		労働時間のバランスを確認する勤怠システムを活用し、過度な労働を事前に検知、抑止している。 また地域限定正社員やフレックス等、働き方に応じて多様な受け入れ制度の検討と導入を行っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		技術認定制度を設け当人のスキルを公平客観的に判断し、それに応じた対価を支払う事で、当人の研鑽を促している。 また全社員は期毎に達成目標を設定する目標管理制度も設けており、その目標に対して会社は全力でバックアップを行っている。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		対象従業員については定期的にストレスチェックを行い潜在的な問題の早期発見に取り組んでいる。 また定期健康診断の費用を負担し、受診を促している。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		育児休暇や介護休暇等を取得出来る制度を整備し、個々の事情に添った働き方を提供出来るように取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビ会議等を導入している。		●	一部の部署ではテレワークや時差出勤を導入しており、新しい働き方に対する労務管理体制の整備も行っている。またWeb会議やチャットツールを導入し社内外の連絡や調整が円滑に行われる様に整備を進めている。 事業所の窓開放や定期的な消毒などを徹底している。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	DXを推進し現業・管理部門の効率化やコスト圧縮を図るとともに、コロナ禍の影響でデジタル化が加速している葬儀業界に対応した新しいサービスの検討・提供を行っている。								8	9.1		11	12						
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12						

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		適切に分別・廃棄を行っており、機密情報や特定の機材等の廃棄は専門の廃棄業者に委託し廃棄を行っている。 また花材については極力廃棄が出ない様に適切に管理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出しており、太陽光パネルの設置やこまめな消灯を促しオフィスの節電に取り組んでいる。 ・車両管理システムを導入しガソリンや軽油等の使用量を削減している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてco2排出量を算出しており、co2排出量が多い車両は適時入れ替えを進めco2排出の抑制に取り組んでいる。 ・co2排出の削減効果もある観葉植物の販売や屋上緑化の提案を行っている。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		環境保全のためFSC認証紙やベジタブルインキの使用を開始している。 また、本来廃棄となる花材の端材等についても装飾や部材として使用、再生出来ないか常に研究している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		IT活用によるペーパーレス化を進めている。また、花材(消耗器機含)についても最大限利用出来るように使い方を工夫するなど、資源の有効活用を推進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		トイレ等で雨水を利用出来る様に設備を整えている。 また、汚水等についても適切な処理を実施している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		本来廃棄される花材等の再利用・再活用・再生が出来る商品開発を行っている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	家で食べきれない食品や、大量に収穫されて余ったもの、またキズもので商品にならない農産物等をおくスペースを社内に設置している。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	屋外向けとして断熱性や景観の向上、CO2削減効果の期待できる屋上・壁面緑化を推進する事業を展開している。また屋内に対しても観葉植物のレンタル等による各オフィス内の緑化活動やその提案を行っている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	社屋の屋上にソーラーパネルを設置し、再生可能エネルギーを供給している。 また電気設備に関しては、より環境に配慮した機器及びパートナーへの切り替えを検討している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	砂浜のゴミ拾いや流木等の撤去を実施しており、特に流木について装飾として流用出来るようなものがあれば再生を試みている。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名:株式会社ビューティカダンホールディングス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		商品は技術者の審査を受け出荷される。 技術者自体のレベルの維持と更なる向上を図るためにも、技術者の継続的な成長を促進する制度を策定し、品質の確保を行うとともに新たな商品の開発も行っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・既存文化を継承した商品を提供しつつ、新興宗教やトランスジェンダーに配慮した商品を検討している。 ・印刷物には「ユニバーサルデザイン」のコンセプトに基づいたUDフォントを使用している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	熊本県の特産品(食品)を株主優待として取り扱っており、熊本県のPRを行っている。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	葬儀規模の縮小化や婚姻件数の減少傾向が見られる中、儀礼文化を守るために現代の価値観に添った新しい商品の開発や、オンラインサービスの提供を行っており、業界全体が持続的かつ成長出来る形を追求している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地域清掃への参加や夏祭りの開催、幼稚園向けハロウィンイベントの開催など、地域コミュニティと一体となり、地域に根差した経営を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		震災経験を活かし想定されるリスクに対して議論を重ね、リスク管理規定として方針を策定しており、事業継続計画も取り纏めている。 また事務所では防災備蓄や防災グッズを常備している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	地域消防団等に入団している従業員は、勤務中であっても緊急時には優先して活動に参加できるよう配慮している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及や啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・社内でSDGsに関して議論する時間を設け、SDGsのゴールに対する目標や進捗を共有すると共に、従業員へのSDGsへの周知活動に対して施策を検討している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	インターンシップは積極的に受け入れており、学生に向けたブライダル装花の講師等も行っている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	地元の生徒、学生を積極的に雇用している。また本人が望まぬ県外への異動等を防ぐための制度も制定している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25

25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

3